

岬町プラスチックごみゼロ宣言

プラスチックは、その機能性や経済性から、私たちの生活に身近なものとなっています。その一方で、不用意にごみとして捨てられたプラスチックが河川から海へ流れ込むことにより、海の環境や生態系に悪影響を与え、海洋汚染の原因の一つとなっています。

府内最南端に位置する岬町は、海と山の素晴らしい自然に恵まれ、夕日に染められた海原の光景は「夕日百選」にも認定され、また府下唯一の自然海浜や海釣り公園は府民の憩いの場となっています。この雄大な自然を未来に引き継ぐため、地域住民をはじめ多くのボランティアの方々が積極的に美化活動を行っています。これまでの行政と住民による協働の取組みを推進し、豊かな自然を守るため、より一層のプラスチック削減に取り組む必要があります。

かけがえのない自然を守るため、プラスチックごみ問題の啓発活動を通じた機運の醸成をはじめ、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の深化を図り、リフューズを加えた4Rによる循環型社会の形成を推進するとともに、プラスチックごみゼロに向け、住民・事業所等と連携し、不断の取組みを行うことをここに宣言します。

令和元年 5 月 27 日

岬町長 田 代 堯